

関中 学校だより

学校教育目標：豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成



関中学校 HP にアクセス

= 第 37 号 =

令和 6 年 2 月 16 日発行

亀山市立関中学校

文責 岩間（校長）

3 年生が、人権講演会を行いました！

3 年生は、卒業まであとわずかとなりました。卒業を目前に控えた 2 月 7 日、3 年生を対象に、「だれもが幸せに暮らせる社会をつくるために」と題した人権講演会を行いました。講演をいただいたのは、視覚に障がいのある中川桃子さんです。中川さんは、26 歳の時に病気により突然視力を失ったそうで、以来、失意の時期もありましたが周りの方に勇気づけてもらいながら、前向きに生活を送っています。中川さんの生い立ちや現在の日常生活の様子、旅行やドラマなど様々なお話に生徒は興味深く聞き入っていました。これらのお話から、前向きに考え生活する姿に勇気をいただくとともに、障がいについて理解を深め、誰もが幸せに暮らせるために自分に何ができるかを一人ひとりが考えることができました。



◇生徒の感想より◇

- ・できないことを考えて落ち込んだりするのではなく、「こうすればできる」「新しいことに気づけた」とポジティブにとらえてみえてすごいなと思った。
- ・点字ブロックがあるところでも不安だと分かったので、白杖を持っている人がいたら、声をかけてみようと思った。
- ・自分の何気ない行動や言葉が、人の助けになることがあるし、誰かのふとした行動で救われることがあると感じた。



1 年生が、認知症サポーター養成講座を受講しました！

認知症は、誰もが起こりうる脳の病気によるものです。みんなが認知症に対する知識を持ち、認知症の人やその家族の方を支援、安心して暮らせる社会を作っていくことが大切です。

この講座は、亀山市社会福祉協議会が主催し、今年も地域の坂倉さんと落合さんにお越しいただき、認知症についてわかりやすく教えていただきました。そして 1 年生の生徒は、日常の様々な場面でどのように声をかければよいかをそれぞれに考えることができました。



1・2 年生は学年末テスト、3 年生は実力テストです！

2 月 19 日から 21 日に 1・2 年生は学年末テスト、3 年生は実力テストが行われます。今年度の集大成となるテストであり、これまでの学習成果を確認する大切な機会です。また、3 年生の実力テストは、中学校



最後のテストであり、県立高校後期選抜に向けた最終の確認をする大切な機会です。「メディコンウィーク」の取り組みも行っています。メディアの使い方を自らコントロールし、計画的に家庭学習に取り組むことで、テストに向けての準備をしっかりとていましょう。